

令和3年度東部地区進路指導・キャリア教育研究協議会

1 目的

望ましい進路指導・キャリア教育の充実を図るため、埼玉県進路指導改善検討委員会の報告書を踏まえ、中学校等と高等学校との連携を密にし、円滑な接続を目指すとともに進路指導・キャリア教育上の諸課題の解決に資する。

2 期日・会場 令和3年10月8日（金） Zoomによるオンライン開催

3 参加対象校

- ・ 東部教育事務所管内公立中学校、義務教育学校（後期課程） 94校
- ・ 管内市町に所在する県公立高等学校 39校

4 主な内容

（1）全体会

- ・ 情報提供1 国の研修会参加者による報告
- ・ 情報提供2 総務部学事課から
「私立高等学校等における学費軽減の補助等について」
- ・ 情報提供3 市町村支援部義務教育指導課から
「キャリア・パスポート及び中学校等から高等学校への円滑な接続を目指す進路指導の現状と課題等について」
- ・ 情報提供4 県立学校部高校教育指導課から
「埼玉県産業教育フェア等について」

（2）分科会（グループ協議）

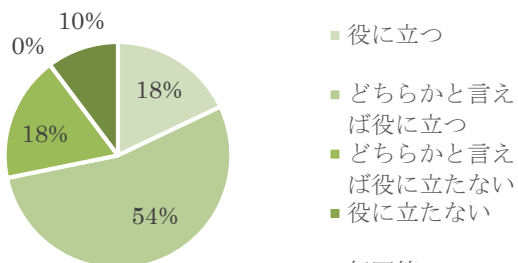
「中学校等から高等学校への円滑な接続を目指す進路指導・キャリア教育の現状と課題等について」

- 1 生徒にとっての魅力ある高等学校
- 2 キャリア・パスポートを活用した中高連携の取組

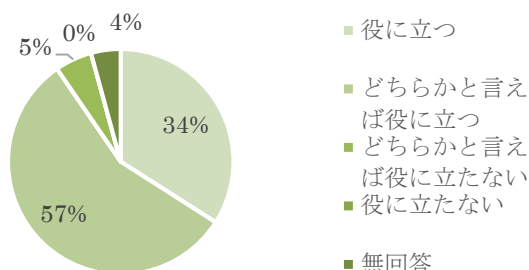
5 参加者の感想から

(1) 全体会（情報提供）について

【高等学校】全体会の情報提供



【中学校等】全体会の情報提供



【成果】高等学校

- キャリア・パスポートについて、多く説明されたので勉強になった。
- 中学生、特に女子生徒の高校選択の際、制服は一定の重要度があることを伺い、今後の生徒募集の参考となった。
- 年に1回だが、キャリア教育についての情報提供は勉強になる。
- オンラインという工夫をして実施していただきありがたかった。コロナ禍ということのように高校側も生徒募集業務が行えていないのが現状である。教えていただいた意見を参考に臨時説明会等を企画したい。

【成果】中学校等

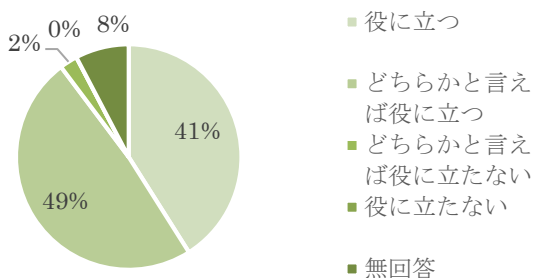
- 情報提供は参考になり、学校で情報を共有したい。
- 私立高校の助成金についての説明があり、保護者へ説明するときの参考となった。
- キャリア・パスポートに関する説明を聞くことができよかった。改めて小・中・高が連携してキャリア教育を進めていくことの大切さを実感した。
- キャリア・パスポートについての取組が始まったばかりで、自分自身がよく分かっていなかったが、今日参加してよく分かった。
- 今後の進路指導・キャリア教育に役立つ、重要な内容を説明していただいた。
- キャリア教育に関する情報提供をいただき、進路担当はもちろん、担任がより深く理解し、進めていくことが大切だと感じた。
- 松川先生の発表の内容が大変参考になるものだった。
- キャリア・パスポートについては、高校でも生徒理解の資料となっているとのことだった。より充実した内容になるように学校で検討していきたい。

【課題】

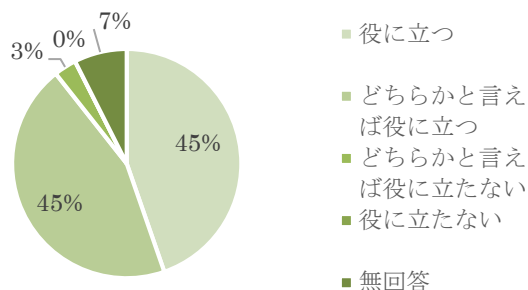
- 情報提供の内容は、中学校向けの内容が多く、高等学校向けの内容が少なかった。
- 専門学科での実際の授業の様子、高校生の普段の様子もリモートで見ることができるとういと思った。

(2) 分科会（グループ協議）について

【高等学校】分科会の研究協議



【中学校等】分科会の研究協議



【成果】高等学校

- 中学校の先生方と情報交換ができる機会は大変ありがたい。
- 例年、中学校の先生と直接お話ができる貴重な機会と考えている。
- 商業系の学科が人気がないことについて中学校の先生にお答えいただき、ありがたかった。広報部などと協議して積極的に資格取得をアピールしようと思った。
- 中学校の先生方との貴重な情報交換の場であり、毎年楽しみにしている。運営される方々のご苦勞もお察ししますが、ぜひ今後もこの機会を続けてほしい。
- 各中学校の様子や指導の在り方を聞くことができ、大変貴重な時間だった。また、コロナ禍でどのような形で中高が連携できるかを検討することができた。

【成果】中学校等

- オンラインの会議だったが不便さはなく、今後もこのような形式だとありがたい。
- 特に、中高の協議は、今後の指導に役立つことが多く、今後も様々な面での情報交換ができる場があるとよい。
- 高校の先生との情報交換をすることができ、とても貴重な意見をいただくことができた。中学校としては、生徒がしっかり目的意識をもって進路を決定することができるような指導をしていく必要があると感じた。
- 他の学校の取組等を知ることができたのでよかった。今後も校内、他校と連携していきたい。
- 高校の先生から「中学校では上位の学習成績を収めていた生徒が、高校入学後集団の中で下位の位置に回った時に、精神的に耐えられず、不適応に陥る場合がある」や「自分の興味・適性を熟慮せずに、倍率だけで専門学科に入学した生徒が意欲を失い、不登校になる傾向がある」という話を聞き、参考になった。
- 分科会の人数が少人数だったので日頃疑問に思っていることなどを協議することができて良かった。
- 本年度初めて進路指導担当になり、不安なことや心配なことがあり、今回の意見交換で多くの情報が得られたので、今後に活かしていきたい。
- アンケートの結果をもとに生徒が高校を選ぶポイントや高校生が学校でどのような生活を送っているのかなど知ることができて、とても有意義だった。

- 中高連携という観点からも先生同士で関わりのもてる機会を増やすことができればよいと改めて感じた。

【課題】

- 授業参観と施設見学ができるとよかった。
- 全体会では中学校向けの情報提供が多く、高校教員にとってはあまり有効な情報はなかったなので、高等学校向けの情報もほしい。
- 操作が不慣れなこともあり、Zoom分科会への移行の操作が不安だった。結果、何の問題もなくことは済んだが、今後もオンラインで実施するのであれば、丁寧なアナウンス、説明がほしい。

(3) その他

- 実際に施設や生徒の様子を見ることができず残念だった。
- 例年のように、実業系の学校施設や授業見学を合わせて行うことができればさらに良かった。
- キャリア・パスポートは、県の様式1枚では中学校での活動や生徒の特性をつかみきることができないため、結局は中学校との直接の連携も必要だと感じた。
- キャリア・パスポートについての高校側の活用の話がなく、どのような想定なのか分からない。高校側ではキャリア・パスポートに関する研修会はなく、情報提供もない。
- 専門学科については、普通科にしか在籍していないと知らない面が多く、見学も含めた案内をいただく機会は貴重である。今回は訪問できず残念だった。
- 専門高校出身ではないからこそ実際に見て、感じたことを生徒に伝えられた方が生徒のためになるかと思った。
- オンラインでの開催は時間・費用の節約となり本業への影響も少なくて良いと思った。

